

大池中学校区 学校適正配置検討会議（第8回） 会議録

1 日 時 令和3年6月28日（月） 午後6時30分から

2 場 所 大阪市立大池小学校 多目的室

3 出席者

（委員）

足立 須香委員、川瀬 邦彦委員、太刀野 功一委員、菱田 享宏委員、藤原 智代委員、安田 宣哲委員、山室 嘉子委員、吉田 久恵委員

（学校）

上田 健二（大池中学校長）、高尾 祐彦（大池小学校長）、庄司 量士（舎利寺小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育担当部長）、花月 良祐（教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、大川 博史（生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、三宅 俊之（総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理）、川楠 政宏（生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、竹口 一吉（学事課担当係長）、竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）、白石 秀一（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）、麻生祐希（生野区役所地域まちづくり課係員）、渡辺 久志（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）

（傍聴）4名

4 議題

- （1）小中一貫校の通称について
- （2）通学路の安全対策について
- （3）その他

5 議事要旨

【小中一貫校の通称について】

- （1）行政からの説明

(説明者：大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

(議事資料1に沿って説明)

- ・議事資料1の1に大阪市内の小中一貫校の通称を小中学校の校名と合わせて記載している。
- ・議事資料1の2については、他の学校での通称の選定方法の例を記載している。
- ・議事資料1の3については、参考として小中一貫校の通称の行政・校長案を例示している。
- ・今の大池小学校の校名を決める際には公募を実施している。公募で集まってきた学校名の中からこの会議の中で案を絞り込みをしていただき、その上で児童のアンケートを取って、その児童のアンケート結果をご覧いただいた上で、こちらで決定いただいたという経過になっている。
- ・通称についても、例えば、今回、小中一貫校になるので、小学生と中学生にアンケートを取るか取らないか、公募をするのかしないのかといったことについてご意見頂戴できればと考えている。
- ・本日は、通称案をどうするかということと、通称の決定に至るプロセスをどうするかについてご意見を頂戴できればと考えている。

(2) 意見等の概要

(委員)

- ・私は、この小中一貫校は一般の方の公募もお願いしたいなと思います。地域の方が、公募することによって学校がこういうふうに出てくるんやなということを分かってもらえるのにはいいのかなと思います。それと全般的に児童にも意味を分かってもらえるようなことで、児童も参加していただいたらありがたいなと思います。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・今の委員のご意見につまましていかがでしょう。公募をやるといったところですけども。

(委員)

- ・質問です。そもそもこの小中一貫校の名称ってどんな時にどんな感じで使っていくんですか。例えば印刷物とか、今、大池小学校とか大池中学校であるところに行き付くってことで、小中一貫校のイメージというかなって感じの。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・失礼します。教育委員会と生野区役所を兼務しております、樋口と申します。よろしくお願いたします。
- ・今、ご質問ございましたけれども、例えばその小中一貫校の名称を作ることで、

ここが小中一貫校なんだという、まず内外ともにそういう認識になるということは色んなところで表記という部分で、例えば学校の看板にもそういったことを表記することは出来ますし、またはホームページ上でもそういった表記にすることができますので。兎角、施設が離れてることによって、ここは小中一貫校なのか。みたいな感じで思われがちなんですけど、ここは9年間で子どもを育てていく学校なんですよというふうな捉えかたをするというふうに思います。そういう意味ではありとあらゆる場面で使っていくことができていくと思います。学校が出していくものですね。

(委員)

- ・今、地域の方の公募とかもあったので、地域の方の公募と行政側の提案したものを生徒に大体候補を挙げてもらって、それをここで決めたら全員が関われるかなと思ってるんですけど、どうですかね。全員が関われる方が多分、今の流れではいいと思うので、どうですか。案というか、これが一番バランス取れてるかなと思いました。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・基本的には公募という方が良いという意見でよろしいでしょうか。

(委員)

- ・どちらもいい言うたら、すいません。樋口先生仰ってくればったんで分かるので。公募になると結構大変かなと思ったのが1つ。学校で生徒さん、子ども達に意見聞く。中学生と小学生に意見聞くというのも、この時期大変ちゃうかなと思ったのと、地域でも意見集約するのも、集める地域も区役所も大変ちゃうかなって思って。それで最終的に大池小中一貫校って決まったんやったら、最初から大池小中一貫校で良かったのかなって思わんこともないけども。
- ・仰ったみたいに印象付けるっていうか、そういうことで皆さんに報せるということが意義のあることで、最終その結果、大池小中一貫校に決まったのであれば、別にそれは全然、そういうことが、ここの場で皆さんが仰るのであれば私は別に。色々大変かなって思っただけです。基本的に多い方に賛同です。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・ありがとうございます。行政側へのお心遣いもありがとうございます。
- ・私ども、こういうプロセスを経て決まっていったらというのを、地域の方にも理解いただく、分かっただけという意味で非常にいい御意見頂戴していると思います。お心遣い感謝いたします。
- ・学校の方、例えば児童生徒からそういった御意見というか、例えば案をまず募集するといったこと、その上でまた検討会議の中で絞り込みをした上で、その中で、またどれがいいかというアンケートを取るといったこと、そういったことを御協力いただくことはそういったことでよろしいでしょうか。

(上田大池中学校長)

- ・はい、快く引き受けます。
(高尾大池小学校長)
- ・同じです。いや、小学生、中々、名前っていうたら難しいなっていうのはちょっと正直思ってるんですけど、子ども達への投げかたを考えます。
(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)
- ・あと、舍利寺小学校の方が居住地でこの大池中学校区と生野中学校区が別れてるということですけども、その中でそういった児童、舍利寺小学校の中でも全員からそういったのをやるのか、大池中学校区にお住まいの児童にやるのかということが、また検討が要るのかなとは思いますが、その辺いかがでしょうかね。分けるとした場合。
(庄司舍利寺小学校長)
- ・学校の方では2つの学校に生まれ変わっていくんだよって、話はもう常々してますので、特に行く子だけに取るとかいうのは難しいので、もう全体で取ってもらったらいんじゃないかなと。ただ高尾校長が仰るみたいに子ども達から案を出すというのは中々難しいなと思います。
- ・幾つか出してもらってアンケート取るぐらいでしたら、全員で大池小学校の方の名前、小中一貫校の名前を考えようっていうのはできると思います。
(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)
- ・ありがとうございます。委員から児童生徒も案を出してもらってはという御意見あったんですけど、今、校長先生からの話にもありましたように、例えばアンケート、まずその案自体どうするかという話は置いていて、案が絞れた段階でアンケートを取るといったことで、例えば小学生、中学生含めて関わるといったことにはなってくるのかなと思います。
- ・そういった考え方の上でちょっと私から御提案で整理をさせていただきますと、まず校名の案について公募をすると、児童生徒についてはこの公募段階では外しておいて、公募して出てきた案からこの検討会議で絞り込みを行っていただいて、その絞り込んだ結果を、そこで児童生徒にアンケートを取らせていただくと、
- ・その結果を元にこちらで最終の決定をしていただくという流れでいかがかなと思います。後、公募する範囲なんですけども、大池小学校という名前を決めた際には大阪市内という地域限定で公募をさせていただきました。
- ・今回、公募をするに当たって、例えばこの大池中学校区内での案募集をするといったやり方、若しくは生野区内で募集するといったやり方、前回のように大阪市内で募集するといったやり方、公募方法についても色々エリアの限定の仕方が出てまいります。先程の進め方の話と含めて、その辺についてもちょっとまた御意見頂戴できればと思いますのでよろしくをお願いします。
(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・ただいま事務局の方から御提案させていただきました。
- ・まず、公募して、絞り込みして、児童生徒アンケートというような流れでございますけども、この流れにつきましては皆様いかがでしょうか。反対意見ございましたら。
(各委員)
- ・賛成です。
(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)
- ・そうしましたら、この流れでやらせていただくということと、後、公募させていただきます範囲でございますけども、生野区内、大阪市内。
(委員)
- ・生野区内で。
(委員)
- ・生野区内がいいと思います。大阪市までいくとちょっとね、大き過ぎて。生野区の方が分かっていた方がいいと思います。
(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)
- ・それでしたら、今、御意見いただきました生野区内で募集の方をかせさせていただきますということで、皆様よろしいでしょうか。
- ・それでしたらまた公募する内容を作りまして、早々に皆様の方に御確認いただいた上でホームページ等上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。どうもありがとうございました。
- ・続きまして、議題2です。通学路の安全対策について、事務局の方からお願いいたします。

【通学路の安全対策について】

(1) 行政からの説明

(説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

(議事資料2に沿って説明)

- ・朝の通学時間帯を考慮し、舍利寺小学校区の安全点検を実施した。
- ・議事資料2の1の図中、黒太字線で示している部分が通学路案となっている。また、安全点検の際にご意見をいただいた場所に番号を附番している。
- ・いただいたご意見に対しての安全対策案については、議事資料2の2でお示している。
- ・今年度、工営所で実施していただく安全対策の工事について、今年度の生野区管内の工事の入札が不調となり、再度入札を一からやり直さなければならなくなった。
- ・その為、早く夏頃から入っていくというふうに説明していた安全対策の工事が入札や

り直しということになり、秋以降になると連絡があった。

- ・大池小学校の外壁の外側、側溝に蓋をしてほしいという要望について2月にプールのある敷地の西面と、校舎の敷地の西面の一部に設置した。
- ・今年度また必要な部分につきましては引き続き設置をしていきたいと考えている。
- ・舎利寺小学校区からの通学路になる大池中学校前の側溝にも蓋をとという御意見等については、6月の第2週にすでに設置済み。
- ・大池小学校の敷地の北西の契約管財局の所管用地の側溝にも蓋をとという御要望について、契約管財局の方も対応の方を検討したが、側溝の深さが5センチ程度しかなく設置はできない。
- ・町会長にも契約管財局の方から状況説明をし、側溝の段差による転倒の恐れがあるということを注意喚起するような看板を設置するということで了解を得た。
- ・注意喚起の看板については、大体、5mから10mの間ぐらいに1枚ずつフェンスに貼りつけるような形で12枚ほど設置済みを確認した。

(2) 意見等の概要

(委員)

- ・中川の方のグリーンベルトを引くのが、7月に引くというお話がありましたね。4月の時に、今年の予算はもう取れないから7月の時にグリーンベルトを引きますということで、今、聞いたらなんか予算が、また取れないとかいうことなんですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・予算は取っていて、今年度の工事をやるために毎年入札を行うんですね。工事業者を募集する入札をしたんですが、落札されなかったということがあって、もう1回その入札の手続きを行わないといけなくなったということなんです。なので入札の公示期間、それから実際に書類作って出させていただき期間等がございまして、それをやった上で再入札ということになりますので、どうしても2か月ぐらいのずれが出てくるということ。

(委員)

- ・2か月ということは、夏休み以後ですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね、はい。

(委員)

- ・9月までにはできるんですか

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・いや、工事に入れるのが秋以降になってくるということなんです。

(委員)

- ・これね、この件に関しては、私達がタッチしてるわけなんですけど、地域の方に一応説明してるわけですね。7月には引けるということですね。
- ・再度またね、こういう入札がまだできてないとかね。結局ね、いいんですけど、9月やったら9月にできるとか、10月には必ず引きますとかいう確約が欲しいんですよ。でないと地域に説明できませんよ。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・仰ることは、ごもっともだと思いますので、工営所の方とも確認しまして、時期的なものがあるのならできるか。次回の入札で落札されることが前提なんですけど、前提でいったときにいつできるのかっていうところはまた確認したいと思います。

(委員)

- ・そうするとその入札された業者がまだ分からんわけでしょ。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね、はい、まだ入札業者がないので。

(委員)

- ・そうすると私達が地域に説明するの、どうしたらいいんですかね。どういうふうに説明したらよろしいのかな。一応ね、7月には引くということ。
- ・最初、4月の時に予算は取れないからということで、4月に本当は新しい小学生が学校へ行く通路として欲しかったんですよ。
- ・ところが7月まで待って下さいということなんで、一応地域には7月までは、ちょっとできないよということを説明してるんですよ。で、また明日、帰って見守り隊の方々にね、これまたできないねんと。ほんならね、見守り隊の方もやはり力を入れてるんですよ。子ども達の安全安心のね。
- ・そこらのとこをね、いつできるという日にちがね。遅れてもいいんですよ、遅れてもいいんですよ、この日にはできますよということを確認してほしいんですよ。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・はい、仰ってることはよく分かりますんで、ちょっとその辺、工営所の方といつ頃になるのかというところをもう一度調整させていただいて、御返事さしあげることでもよろしくお願ひしたいなと思います。

(委員)

- ・よろしくお願ひします。きついこと言いますが、私達の立場として、やっぱりこれ言わなきゃあないんですよ。よろしくお願ひします。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

化担当課長代理)

- ・ありがとうございます。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・その他、ございませんでしょうか。

(委員)

- ・私、御幸森の方の校区なんで、この通学路のことに関してでも今、意見言っているんですか。
- ・この3週間ほどやってないんですけど、ずっと2月から毎朝子ども達と一緒に、御幸森の校区でいうと勝山5丁目って書いてる辺りの子ども達と一緒にずっと毎朝やってたんで、実をいうと、一条通りの歯科のところをずっと行ってたんですが、遠回りになる子があって、中々遅刻気味っていうことで、この間、学校の方にもお願いして元々集合してたところに集合して行ってるんです。
- ・だから、勝山北5丁目の一条通りって、歯科までのところは、子ども達も通ってないんです。それが1点。
- ・近い方っていうことで、学校の方にも言いましたけど、2つの班は今、川筋をずっと行ってるんです。川筋を。で、私びっくりしたのは、この川筋のほとんど、白線がほぼほぼ消えてまして、ここは最初から通学路っていうふうに認定されてた班があるにもかかわらず、私がうっかりして、私自分も凄い申し訳なかった、見に行けばよかったと思ったんですけど、そこの白線が結構、車が1台来て子ども等が1列ぐらいの幅なんです。
- ・こないだ学校の方にもちらっと言ったんですけど、今回見せてもらったら、意見7のところっていうと黒いところはいわゆる今里筋の歩道を歩くんですよ。これでちょっと区役所にも言わせてもろたけど、いっそそのまま今里筋まで出て、この黒い通学路を通るっていう案もありますよね。
- ・舍利寺のお子さん達がどれぐらいの人数がここ通りはんのか、ちょっと分からないんですけども、いわゆる御幸森小学校の公園っていうところまでずっと来て、そこの御幸森公園って書いてるところまで、川筋をずっと上がって右に曲がって、今里筋のところに出て、歩道橋を渡っていくっていうコースをずっと行ってるんですけど、これでいくと今里筋も通学路になるのであれば、いっそ今里筋に出るっていう案もあるのかなと。
- ・ただこれは、私は分からないので、学校の方でまた御判断いただいたらいいかなと思うんですけど、にしてもその川筋の白線が、ほぼほぼ消えてて非常に危険やなっているふうに思っています。
- ・今日も気になったのは、あとそういう箇所が何箇所かあるので、グリーンベルトのここはぴしっと引いてもらってるんですけど、意外と子ども達が通学路で、通ってるとこ

ろの白線が消えてる。

- ・今日も見た、歩道橋降りてきたところの横断歩道のあの白い線も消えてますよね。一番肝心なところも。だからもう1回点検してもらって、舍利寺でやりはる時にそこら辺もう1回引き直してほしいなって。そもそも剥げてるところは、通学路じゃなくても引くべきやと私は思うんだけども。
- ・それともう1点、その通学路については、子ども達の安全について、もし舍利寺の人達はその黒い、意見7のところ行くのであれば、そこで御幸森の子ども達が行くのもありかな。これ私は分かんないの、最終判断は学校にお任せしたいと思いますけど。ついでですけど、この際、皆、綺麗にやってもらったらなと思います。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・今、いただいてた川沿いの道については、今回、舍利寺小学校区の方で作ったのでちょっと入ってないだけでございまして、川沿いの御意見いただいて、色が薄くなっているとかそういうことは聞いております。そちらの方の塗り直しについて今年度していただくようにということは工営所、それから警察の方にはお願いしているところでございます。
- ・ただ、先程仰られたように川筋、割と道幅狭くって、子ども1人が通れて、割とスピード出されるっていう実情があるかと思うんですけど、その辺考慮されて今里筋の方をとということも検討の対象にはなろうかと思えますんで、ちょっとその辺は学校さんの方から御意見もいただければなと思います。

(高尾大池小学校長)

- ・すいません、失礼します。今の両方の意見、ごもつともなんですけれども、ただ年度当初、特に低学年の子どもが登校だけじゃなくて下校のことがあって、スムーズに家に向かう最短距離を子ども達の判断で、変えるのが難しいので、とりあえず来たところを帰るっていうのを最初やってみようということで、最初の通学路があって、それから川沿いの方に今移って、最終的に子ども達の様子を見て今里筋に出るのか、それとも一定、この辺の場所の子ども達は川沿いを歩くのかというようなところは整理をしていきたいというふうに思っています。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・その整理された内容に合わせて、対策の方を講じていくということでよろしいでしょうか。

(高尾大池小学校長)

- ・この黒線は整備を舍利寺に向けてするということと、それから川沿いの道とか線が消えかけているので、引いていただくということで理解をしているので、後は、子ども達がきちんと遠回りにならない帰り道を覚えて通れるようなことが大事かなという

ふうと思うので、その辺を学校の方で指導していきたいというふうに思っています。
(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・分かりました。それでは、川筋の方も対策を講じた上で、状況に応じて子どもさん等がどの通学路を通るかっていう選択にしたってということでもよろしいでしょうか。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・その他、御意見ございませんでしょうか。

(委員)

- ・意見の5番と6番の信号のことなんですけども、ほんとこの場所には点滅でいいんで、是非付けてほしいですね。
- ・今まででもついてないのが不思議なぐらいだと思うんですけど、僕もやっぱり近いんで、結構通ったり、朝も夕方も通ったりするんですけど、5番の方は中学生の数かなり通りますし、6番の方は今までの中川の小学生が、沢山通ってたので、非常に危ない場所だと思いますので、是非検討ではなく、つけてもらうようお願いしてください。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・警察の方には御要望いただいたいということで、お伝えはしていきたいと思います。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・その他、御意見ございませんでしょうか。
- ・では、議題2、通学路についてはこれで終了とさせていただきます。

【報告 開校後の状況について】

(報告者：高尾大池小学校長)

- ・4月開校してから約3か月になりますが、子ども達の様子を見ていて、もと中川小学校の子どもたちの人数がやっぱり多いんですけども、そんな中、もと御幸森小学校の子ども達って、大変気持ちが優しくてですね、それまでの両校の交流であるとかそれぞれの指導もあつてのことだと思うんですけども、子ども達同士の間では大きなトラブル等ほとんどなく、本当にスムーズに溶け込めて学校生活を送れてるかなというふうに思っています。
- ・それに向けては、行政の方でも人の配置というのを本当に手厚くしていただいています、特に2年生から6年生までは学級の定数にプラス1の教員を配置していただいています、その教員等も活用して定数以上、最も人数が多かった5年生、それからその次に多かった4年生を学校内の操作で1学級増やして3学級にしていたりとか、学力支援とか特別支援のサポーター等も入れて常時学年で3名から4名の教員、教

職員の体制で児童の支援、指導に当たっている状況です。

- また、統合したことによって精神的に不安定になったり、上手く集団に溶け込めない児童はいるんですけれども、その子についてもスクールカウンセラーを今、月、火、水、3日間3名のカウンセラーの方を配置していただいています、そのカウンセラーに子ども達が相談に来たり、話しに来ない時には各教室を回って子ども達と関係づくりをしたりとか、それから気になる子にはカウンセラーの方から声をかけてもらったりということをや4月当初からやっていたりして、現在、1日で大体3名から5名ぐらい子ども達が、相談ってということではないですけど、ちょっと話に来たりとかってというような状況も生まれています。
- それから、図書室の改修を昨年度中に行っていたりして、また皆さん来られた時には図書室の方を覗いてもらったと思うんですけれども、とても照明とか中身の配置とか、それから本の置き方とか細かいところまで、子ども達が本を手に取りやすいようにってというような気遣い、配慮をされた図書室だと。私、小学校の図書室では初めてこんな雰囲気図書室に出会ったんですけれども、そういうのもあって図書委員会に入りたい子が増えたりとか、休み時間に図書室に子どもが増えたりっていうのがあります。
- そんな中で、休み時間、本当に多くの子ども達が外に出て遊んでいて、ざっとですけど、351人いるんですけども、大体、休み時間200人ぐらいの子ども達が外に出て遊んでいます。
- その辺を総合的に踏まえて、本当に、皆様に色んな配慮をいただいて、大池小学校、子ども達にとってはいいスタートが切れたかなというふうに思っています。
- 後、一昨日の6月26日に開校式の方を行って、コロナの中ということで事業委員の方、主催者側ということで、事業委員長をはじめ連長さんとか、PTA会長さんとか、地域の方々、参加いただきまして行いました。一応、新しくできた校歌を全員で歌うということを中心に開校式を行いたいということで、事業委員の方にも説明をさせていただいて、それを行うために運動場で全学年、横に並んで校歌を歌って実施しました。
- その辺の様子は、ホームページの方で、ちっちゃな写真ですけども載せてますのでまたご覧ください。
- 私の方からは以上です。

(1) 行政からの説明

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ただいまの大池小学校の開校後の様子、聞かせていただきまして、本当に地域保護者の皆さんの不安は、まだまだ尽きないと思うんですけれども、しっかりとその不安な思いに寄り添って、子ども達が元気に新しい大池小学校に通うことのできる学校づくりを引き続き教職員の皆さんとともにやっていきたいと思っております。

【報告 教育内容について】

(報告者：樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・9月の中旬ぐらいに各御家庭に学校案内というものが届く予定ですが、学校案内には大池小学校また大池中学校が紹介されます。今年度からは、小中一貫校については小中一貫校用のページも作っています。
- ・学校案内に記載される教育内容について、先んじてこの検討会議の委員の皆様にご報告させていただきたい。

(報告資料に沿って説明)

- ・小中一貫校として、ユネスコスクールとして認証、また実践を目指しますということで、実践は既にもう引き継いでやっております。
- ・以前、検討会議でユネスコスクールの認証が、一旦ストップしてるという話がありましたが、再開されており6月から受付を開始しています。
- ・この間、日本ユネスコ国内委員会の事務局とやり取りをしており、小中一貫校で、この9年間でしっかり子どもを育てていく学校としてエントリーしたいと相談しているところですが、事務局から小中一貫校としてスタートするこの令和4年度、早々にエントリーできるように準備をお願いしたいという回答がありました。
- ・エントリーにあたって、校長先生または教職員の皆さんとも協議をして、9年間に更に様々な社会変化にも対応できるような、そういったプログラムを作って申請をしたいと考えています。
- ・行事に関して、学習参観や期末懇談については、小学校と合わせたタイミングでやっていく。体育大会と運動会はともに5月の下旬から6月の初旬にかけて予定しているが、中学校は平日開催、小学校は日曜日開催を基本として調整を進めていきます。
- ・その他御希望に応じて、区役所へ出前講座の申し出をしていただければ小単位の説明会などやらせていただきます。

(2) 質問等の概要

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・ただいまの報告につきまして、ご質問等皆様ございませんでしょうか。

(委員)

- ・ありがとうございました。前からも言ってるんですけど、この再編会議で提案されたこともそうですし、それから再編する時に色んなメリットっていうか、今、再編するところというふうな色んな配慮事項ありますっていうことを今日、高尾先生や樋口先生のお話では、いうたら約束守っていただいて、子ども達にいい環境や人的な配慮をしていただいていることは分かるんですけど、私達しか分からないのは少しやっぱり。保護者の方に対して、こんなことがメリットになりましたというのと、もう1つは地域の方にもやっぱり凄く不安な中で、統廃合にGOしたものの果たして上手くいってるのかどうか

ていうのをやっぱり地域の方も思われるので、私個人的には色々報告はしますけども、例えば校長先生の方からもまた地域に来られた時とかに、御報告いただけたらみんなも安心するんじゃないかなと思うので、できるだけ良い話はどんどん広めていただきたいなって思います。分からないので、皆さん。クラス、「何クラスになってん」って言われても、それが配慮された3クラスなのかね、そういう基準も分からないので、普通は2クラスなんやけど3クラスになってんって言ったら、ああそれは凄いねえ、やっぱりなってよかったねえ、みたいなことになるので、その辺を丁寧にしてもらえると。やっぱり不安な中でスタートしたのでそういう機会を持っていただきたいなと思います。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・ありがとうございます。今、委員からお話ありました。4年生、5年生は特に加配と言いまして、通常その教員の人数は配置されないんですけども、そこは再編したことをもって、加配してるわけですけども、加配教員を生かして4年生、5年生は通常だったら2クラスになります。4年生でしたら、通常だったら34、5人ぐらいになる予定だったんですね。
- ・5年生でしたら35、6人という感じになる予定だったのが、今現在、20数人、23人とか4人とか5人とか、その辺りぐらいの人数で収まっております。この辺りも当初からお話のありました小規模校の良さを継承するというふうなことで、学校も積極的にその辺り選択をしていただいたということでございますので、よろしく願いいたします。
- ・仰っていただいたように積極的な、やっぱり、なかなか学校に今コロナで来ていただけない中でありますので、映像とか写真とか、そんなことも入れながらお伝えするのが、一番早いっていうか、私も校長時代によくやりましたけど、やっぱり百聞は一見にしかずで、こんなふうに子ども達が活動してますよというのを見ていただくのが一番伝わると思いますので、そんなこともまた、これはもう私も学校にお願いする立場でございますので、お考えいただいてやっていただけたらと思います。

(上田大池中学校長)

- ・本当にコロナのあれで、まち協の会議とかちょっと参加できていないので、ほんとに御指摘いただいて申し訳ない限りなんですけれども、今後できるだけ努めてまいります。

【その他 学校選択制と在校生に対する特例措置について】

(1) 行政からの説明

(説明者：大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・失礼します。私の方から学校選択制と在校生に対する特例措置について、資料はないんですけども説明させていただきます。
- ・学校選択制については、これまで生野区内、東側だけ適応していたが、来年4月から生

野区の西部地域も含めて学校選択制を適用するということとし、区内全域の小学校中学校が対象となったことをご報告させていただきます。

- ・それともう一点、これまでの再編の説明会や意見交換で、今回の様な学校再編の時には、友達関係や通学距離などを考慮して学校選択できるようにしてほしい、要は新入学時ではないけども在校生についても選べるようにしてほしいといったご意見頂戴してきました。
- ・こういったご意見も踏まえ、できるだけニーズに応えることが出来るように検討してきましたが、特例として、来年の4月の学校再編のタイミングに限って生野区内の児童、具体的に申し上げますと、今、現在の小学1年生から5年生については新しく開校する、この大池小学校、生野未来学園、田島南小学校を希望する事が出来るようにします。
- ・現在の中学1年生2年生については、生野未来学園を希望出来るという事にもしていきたいと考えています。
- ・学校選択制も今回の在校生の特例についても、希望されたら全員が行けるというわけではなく、受け入れ可能枠を超える希望があった場合は抽選になります。
- ・具体的には学校選択制の対象となるご家庭も今回の在校生の特例についても、8月下旬から9初旬頃に学校案内を各家庭には配布させていただくという事になってまいりますのでご報告とさせていただきます。

(2) 質問等の概要

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・ただいまのご報告につきましてご質問の方ございませんでしょうか。

(委員)

- ・はい、2点あります。
- ・1点目は先程樋口先生のご説明にもありましたんですけども、多文化共生教育の充実ということで保護者や地域の方々のご協力を基に実践していきますということを挙げていただいたので、実ははぐくみネットを先日立ち上げになったんですけども、その時に少し話が出たのは、はぐくみネットの予算のことなんですけど、やはりニュースを作ったりとか、逆にこういう時なので、はぐくみネットが生涯学習の時も私同じ事言ったんですけど、2つの学校が1校になったからって言って1校分の予算ではなくて、その辺は移行期間というところでご配慮頂きたいって事を昨年度中に言わなかったなって、でもやっぱり凄く皆さん積極的にメンバー集まっていたいて、会長も来ていただいたので、そこら辺でいうようなご配慮というかもう1回予算について別枠で、そういう活動についての予算を地域と学校が連携するっていう時に少し使える予算みたいなのがあるのか、なければまた学校の方につけて頂けるようにしてもらえたら有難い。こんなふうに挙げていただいているので全面的に協力するつもりではいます。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・今の話、すいません。ちょっと担当は別にはなるんですけども、事前に話は伺ってましたので、聞いてまいりました。
- ・まず、今回の学校の再編によって、学校体育施設開放事業、それと生涯学習の関係で、はぐくみの関係、この3つが再編に伴って学校直接ではないですけども、一緒になっていくという中で、それぞれの予算というものがございます。
- ・今、委員からもございましたけども、はぐくみにつきましては通常の1校分の予算ということになってるといふふうに伺ってます。逆にすいません。失礼しました。
- ・同様に体育施設開放事業。こちらにつきましても2校が合わさってるけども1校分の予算になってるといふふうに伺ってます。
- ・あと生涯学習につきましては、通常の予算の5割り増しっていうふうになってるといふふうに伺ってまして、ちょっと経過として聞いてますのが、今回、生野区の再編でいきますと学校の跡地を残していくと、防災、災害時の避難所という前提の基、土地を残していくということ。後、地域コミュニティの拠点としてといったことがございましたので、跡地が残るとその中で、それぞれ3つの事業。先程申しました、学校体育施設開放事業、生涯学習、はぐくみ、それをもと小学校を活動場所として行うということが想定される分については、通常の学校の5割増しで今年度の予算をとってるといふふうに聞いております。
- ・ですので、今、委員からございました、予算として今あるのかっていったことについては、今はないというのが現状なんですけども、今、お伺いしたご意見っていうのは再度担当の方には伝えてまいりたいと思いますので、宜しくお願いします。

(委員)

- ・ちょっと分からなかったのが、例えば、だから今度プロポーザルで運営会社決まった時に、例えば御幸森小学校の跡地で、はぐくみネットとか、生涯学習とかをやる事を地域として交渉して、それが可能になった場合は、そこに予算がついてくるということですか？

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・すいません。あまり詳しくなくて申し訳ないんですけども、活動場所としても小学校を使うということが想定される場合に、予算としてどうするかというのを検討するといふふうに伺ってます。

(委員)

- ・だから、今度決まった運営会社と地域の方を含めて、はぐくみとかの皆さんと相談して許可が出ていいよということになった場合の予算申請は出来るってということですか？

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・イメージ的に聞いてますのは、はぐくみはもと小学校での活動とかいうイメージでは聞いてなかった。

(委員)

- ・ ですよ。大池小学校になるからね。でも生涯学習も大池小学校でって言われたので、もう1本ですって言われたので、今びっくりしたのは、もとの御幸森小学校でそういう活動をしていいんだって、可能だっというふうなイメージは全くもってなかったの、ちょっと今ここでいうあれではないので。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・ その辺も含めてまた担当の方に正確に。

(委員)

- ・ ちょっと、地域に持って帰ります。もう1個いいですか。御幸森のジャンバーはいつ来るんでしょうか。もう経過とかはいいので、いつ来るかだけ言っていただきたい。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・ 2学期には間に合うようにという事で、今、進んでるという状態です。遅れて申し訳ございません。

(委員)

- ・ 今度からこんな事がないようにして下さい。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・ すいません。

(委員)

- ・ はい。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・ はい、お願いします。

(委員)

- ・ 段々暑くなっていく時期なんですけど、運動能力とか小中で落ちてると思うんです。
- ・ 今、聞いたというか、昔からそうだと思うんですけど、学校に児童とか生徒さんが持って来れるのが水かお茶って伺ってるんですけど、これは多分これから熱中症とかの予防としてですね、何か対策した方がいいと思うんです。
- ・ 体育とかでしんどくなったから休んだ、で、熱中症の疑いがある、そこから塩分タブレットとか経口補水液とかですかね、摂ると思うんですけど、僕もスポーツしてたから分かるんですけど、それじゃ遅いんですよ。
- ・ で、もっと言ったらそれ飲んですぐ回復するわけではないので、またそこから休んでとなると、その後の授業とかにも支障が出ると思うんです。
- ・ で、もう最悪というか次の日休んだりもすると思うんです。なので教育委員会とかも含めて学校の方も僕等 PTA も含めてなんですけど、ちょっと事前に体育の授業の前の授業の時に、皆塩というかタブレットを食べるとかいう事をした方が確実にええと思うんですよ。
- ・ 外でスポーツしちゃうと、どうしても出ていくので塩分とかミネラルとかも出ていくの

で、先にそれを摂らないと本当に健康が損なわれていくんで、これはここの学校のことだけじゃなくて全国って言ったら幅広くなりますけど、もう地域として請け負ってる学校にはそうした方が、僕は良いと思うんです。教育委員会もそうですけど学校としても、これは是非お願いしたい事です。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・ご質問ありがとうございます。
- ・確かに熱中症対策っていう点で塩分補給も合わせてやらなければならないという話は聞いてるところではございますけれども、じゃあ学校でそういった事をやってるかっていうと、具体的に教育委員会から通知してですね、学校がやるっていう事にはなっていないというふうに思うんですよね。これ申し訳ございません。私ここで持ち合わせてる知識が足りないところがございますので、ちょっと1回学校保健担当にも確認をさせていただいて、確かに素人ながら私も運動する前にタブレットを舐めたりですね、勝手に気休め程度のことやったりしてますけど、それが有効に活用…体内に働いてるんだろうなと信じてやってるんですけどね。
- ・その辺りの科学的な根拠を基にした教育委員会が、学校にどんな措置をしてるのか、もう一度確認させて頂いて近々委員にお話させていただきます。すいません。

(委員)

- ・ありがとうございます。
- (高尾大池小学校長)
- ・すいません、失礼します。
 - ・学校の現状としては、仰る通りやる前っていうのが現在、出来てなくて、ただ全市的に危険指数とかっていうのがあるので、暑い時には体育とか外で遊ぶとかを控えて、そういう危険な状況にならないようにっていうような配慮しているのは現状です。なのでより良い防衛・防御に繋がるような対策があるのであれば、また学校としても取り組んでいきたいと思えます。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・はい。その他、ご質問等ございませんでしょうか。
- ・本日の議題・報告につきましては以上となります。本日はありがとうございました。

6 主な確認事項

【小中一貫校の通称について】

- ・通称は生野区在住の方を対象に公募を行い、検討会議で候補を絞る。その後、児童生徒にアンケートを取り、その結果を参考に検討会議で決定していく。

【通学路の安全対策について】

- ・工営所実施予定の工事について、実施時期が確認でき次第、報告する。

7 会議資料

- ・ 次第
- ・ 議事資料 1 小中一貫校の通称について
- ・ 議事資料 2 - 1 通学経路案及び安全対策
- ・ 議事資料 2 - 2 大池中学校区 新通学路安全対策（舍利寺小学校区）
- ・ 参考資料 横断歩道・信号機設置等の基準について
- ・ 報告資料 大池中学校区小中一貫校としての新たな教育
- ・ 大池中学校区 学校適正配置検討会議 委員名簿